



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成  
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

☆1月の目標

☆安全の「あ」  
健康な自分・・・  
※体力づくりをしよう  
※手洗い、うがいを  
しよう

☆配布物のお知らせ  
・学校便り42号

☆保護者の会から

☆今後の主な予定  
・1月21日 避難訓練  
・1月28日(幼)節分集会

☆四年一組 「プラタナスの木」を読んで

戸田 海せい

ぼくがプラタナスの木を読んで一番気になったのが、マーチんの祖父母の家の近くの森の木は、たおれていなかったのに、どうして、プラタナスの木はたおれていたのか気になりました。プラタナスの木は、何年いきていたのかすごく気になります。ぼくは、プラタナスの木が古くてたおれてしまったんだと思います。だいたい二〇〇年ぐらいいきていたのだと想像してみました。もう一つは、森には、木がたくさんあるから、木の根と根がからまってたおれなかったからで、プラタナスの木は、一本だったからたおれてしまったんだと思います。ぼくが、プラタナスの木を読んで、一番心になったのは、プラタナスの木がなくなったからマーチんたちがプラタナスの木のかわりになろうとする場面です。理由は、ぼくはプラタナスの木のかわりになろうと考えたこともなかったからです。ぼくの家にも、細かい切りかぶがあります。ぼくも切りかぶに乗ってマーチんたちと同じことを感じられるかやってみようと思います。

☆自分の名前の由来

三年二組 小柳 太が

ぼくは、アメリカで生まれました。生まれた日は、七月十五日です。一か月半も早く生まれました。とても小さく生まれたので、お父さんとお母さんは、当時、活やくしていたプロゴルファーのタイガーウッズを応援していたので、このタイガーウッズのように大きく活やくする人になつてほしいと思います。太がと名づけました。ミドルネームは、野球のメジャーリーガーのホワイトソックスのせん手にクリーディという人がいて、活やくしていてお母さんのお気に入りの選手だったので、そうです。ぼくの名前は、太がクリーディと言います。とてもいい名前を付けてもらいました。ぼくは、とてもうれしかったです。



☆自分の名前の由来

三年二組 緒方 心菜

わたしは、自分の名前の由来を知りません。そこで、お父さんとお母さんに聞いてみました。心は、人の「ココロ」が分かってあげられる子、「じん」の強い子、しっかりした子に育つてほしいという意味がありました。菜は、音のひびきが女の子らしいかわいいうイメーজでつけました。「心菜」という字は、全体のバランスと画数が良かったのも、理由の一つだそうです。

わたしは、名前の由来を聞いて、「心菜」という名前がもっと好きになりました。わたしにも子供が生まれたり、すてきな意味のある名前を考えたいと思いました。

心

☆自分の名前の由来

三年一組 丹野 祐希

わたしの名前は、「祐希」です。いろいろな理由があつてこの名前になりました。どんな理由かお話しします。

一つ目の理由は、わたしは、クリスマス前に生まれたので、空から降る雪から名前が付いたそうです。二つ目の理由は、アメリカ人が読めてよびやすい名前にしたかったことで、「祐希」になったそうです。わたしは日本人ですが、アメリカで生まれてそだっているのですが、ふつうの日本語の名前で、音のひびきがアメリカ人にもおかしくないようにこの名前になりました。最後は、どうして「祐希」という漢字になったかです。「祐」という字は、神様に守られているという意味があるそうです。わたしの名前は、神様にいつまでも守られながら希望をもって生きていってほしい、というねがいが込められています。私はこの名前がとても気に入っています。

祐

☆五年二組 「私が一番感謝したい人」 吉村 泉希

わたしが一番感謝したい人はたくさんいますが、その中でも一番感謝したい人は両親です。

わたしは両親に感謝したいと思います。どうしてかという点、いつも私のそばにいてくれるからです。悲しい時もうれしい時もいつも一緒にいてくれます。私にとって大事な人たちなのです。いつも、何でもしてくれます。しかったり、教えてくれたりしてくれます。

お父さんは、いつもがんばって家族のために働いてくれます。いつも真面目でおもしろいし、頭もよく優しいです。おかあさんは、いつもご飯を作ってくれます。いつも優しくして頭がよく、少しおっちょこちょいです。テストで悪い点数を取った時に、お父さんは優しく、次は絶対に百点取れるよ」と言ってくれました。お母さんは、間違ったところを復習し、次のテストの予習と一緒にしてくれます。

もし、両親がいなかったら私は生きていられなかったと思います。心細くなつて、お金や食料もなかったと思います。いつも、一人で悲しい人生だったと思います。

お父さん、お母さん、いつでもなんでも、私のためにしてくれてありがとうございます。今までは、ずっと私のお世話をしてくれてありがとうございます。私は今、人生をすごく楽しく過ごることができています。



☆五年二組 「無人島に一人」 内田 羽為斗

もし、無人島に一人だったら、好きなように生きていきます。例えば、普段一人ではやらないことをやりたいです。ご飯を作ったり釣りをしたりいろいろとやりたいです。いつか無人島を出て、自分の家に帰った時の嬉しさは、考えられないくらいすごいです。いつも、家に帰ったら、普通に寝ればごはんが食べられるし、無人島で一人の生活は、厳しいと思います。まず食料や飲み物がなくて死んでしまうかもしれません。でも、いざという時に行動しなければだめだと自分は思っています。それで頑張って生きていき、島を脱出した快感は何十年、何百年経っても忘れな

いと思ひます。やはり、普通の生活が急にできなくなるのは、とても辛いと思います。そんな中で自分は、絶対できなそうです。でも生きていけた人がいるなら、自分もその人を見習って、生きていきたいと思います。



☆四年二組 野原の住人になって

のほらには、しぜんのみどり、さわやかなのよきにきらめく

あ、あ、あ、木、草、花、虫も、ひつようだ



☆四年二組 野原の住人になって

はねてとぶ 村上賢二郎

よぞらをみあげ、月のしたで、はねるぼく、どこまでも、どこまでも、ピョンピョンと、はねあがり、ちようのように、ぼくはとぶ、空でも、うちゅうでも、いつまでも、どこまでも、月のしたで、はねるぼく

☆四年二組 野原の住人になって

つかまえる、ころろぎくん、大西麗央

しぼとしぼを、くぐりぬ、けしぼとしぼを、かけめ、ぐり、えものを見つけた、そして、しぼをかけめ、ぐり、しぼとしぼから、ジャンプする、えものにおそいかかる、そして、ぼくは、ま、ま、ま、強くなつた



☆四年二組 野原の住人になって

みつの味、みつぼちろう、楠本 涼

まいにち、まいにち、花をさがし、まいにち、まいにち、みつをいただく、花がちがえば、味もちがう、だから、ぼくは、まいにち、まいにち、花をさがす



